

平成 29 年度第 1 回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 平成 29 年 6 月 24 日 (土) 14:00~16:00
会場 : 常磐公園
出席者 : 市内在住の市民 5 名
旭川市土木部公園みどり課 4 名
配付資料 : 説明資料
オオハンゴンソウ説明資料

○開催内容

- 1 開会
- 2 オリエンテーション
- 3 自然更新ゾーンの改良について
- 4 ブッシュについて
- 5 オオハンゴンソウの除草
- 6 春期自然環境調査結果の速報報告
- 7 閉会

自然更新ゾーンの改良に対する意見について

- 確認された実生といわゆる「雑草」との競合が生じることから、除草を実施するとしているが、除草すると土壌の乾燥が心配であることと、競合を含めて“自然更新”ではないか。
- マルチングの砂利厚を調整するとしている。実施には賛成。さらに常磐公園の落ち葉で作った腐葉土を敷設するとよいのでは。
- 現在確認されている実生が競合により淘汰される可能性はあるが、今年度はこの状態で様子を見守ることとしたい。→（市回答）「雑草」が枯れる秋口に除草および砂利厚の調整を行うものとする。
- （昨年度設置した、落ち葉を堆積させた自然更新ゾーンについて）実生が確認され、「雑草」があまりなく競合することもない。いい状態だと思う。

ブッシュについて

- 将来的に下草が伸びトラロープの囲いを外したとき、それを見た来園者が不快に思う場合があると思う。現在設置している看板よりも目的などを詳細に記載した方がよい。
- 様々な種の草本が確認されるようになると思うので、代表的な種を紹介する小さな看板があるとよいのではないか。
- 部分的でも水路の護岸を撤去し、水路底を土砂にして水生植物を繁殖させることが昆虫類等にとって望ましい。（前回同様意見）→（市回答）工事予算や水質・水流阻害等の問題があるため、今すぐの対応は難しい。今後ブッシュの状態確認や皆様との協議を進めて対応策を検討したい。
- 今後、ブッシュを観測していくうえで、どのようなものを指標としていくかを専門家と協議して検討していきたい。（市意見）

その他

- 千鳥ヶ池を含め、水路の水質に問題がある。流れる水量を増やしたり、流下するスピードを増したり、ボランティアを募って清掃するなど水質を改善させる措置を早急に検討するべき。
- 今回でオオハンゴンソウがすべて駆除されたわけではないと思われるので、こういった活動を維持管理作業の一環として続けていきたい（市意見）